

【児童への話】

今週の金曜日から7月です。7月は古い呼び方で、ぶんのつきと書いて「文月（ふづき または ふみづき）」と言います。今日は、文を書くときに欠かせない「漢字」について、皆さんがかしこくなるお話しをします。

漢字の「漢」は、今の中国にあった昔の国の名前です。そこで使われていた文字なので、漢字といいます。その後、漢字は日本に伝わり、広く使われるようになりました。ではクイズです。この「漢」という字、なぜか水を表すさんずいが付いていますね。この字の右のまとまりには「乾いている」という意味があるので、まとめると「乾いた川」を表した字になります。川なのに乾いている…？ 皆さん、この「乾いた川」とは、いったい何を表しているのか、分かりますか？ 15秒で考えてみてください。

正解は、これからの季節に、夜の空に現れるキラキラ輝く大きな川、『天の川』です。雄大で美しい天の川は、国の名前になる程、今も昔も人々の心を動かし続けているんですね。来週木曜日は七夕です。この話をぜひおうちの方にも教えてあげてください。

このように、漢字にはそれぞれ意味や成り立ちがあるので、調べてみるととても面白いです。漢字以外にも、不思議に思ったことや知りたいと思ったことを自分から積極的に調べてみてください。そして一日ひとつ、かしこくなって帰ってくださいね。

今日は「漢字などを知ることの楽しさ」についてお話ししました。

【本講話について】

人間は、知ること自体に喜びを感じる唯一の生き物です。ポケモンの名前を全部言える子は、その知っていること自体に誇りをもっているものです。知識量の多さは学ぶことの喜びを生み、その子の学習へ向かう意欲や生涯にわたって学び続けようとする態度を育ててくれます。

単純なことですが、「知らないより知っているの方が楽しくていいことがいっぱいある」という気持ちを味わわせ、番町小の子どもたちを主体的に学ぶことができる子に育てていきます。